

**アークフラッシュ施工された老人施設 6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

**秋田県健康推進課は21日**、鹿角市の「ホテル鹿角」(泉充支配人)で、11、12日、学習合宿で宿泊した青森県の高校生27人・教員2人と、16日に修学旅行で宿泊した北海道の中学生55人・教員1人の計85人が、ノロウイルスに集団感染したと発表した。おう吐、下痢、発熱などの症状が出たが重症者はなく、快方に向かっているという

大館保健所によると、青森の高校生ら8人と北海道の中学生ら6人からノロウイルスが検出された。従業員からの検出はなかったが、ホールのじゅうたんからウイルスが検出された。7日にこのじゅうたんにおう吐した客がおり、消毒が不十分だったとみられる。

青森県の生徒らが受診した鹿角市内の病院から13日に大館保健所に連絡があり、19日には函館保健所から、県生活衛生課に同ホテルの調査依頼があった。同ホテルは同日から営業を自粛している。

**山梨県甲府市徳行の和成保育園**(深沢利男理事長)で12~20日にかけて、園児35人と職員3人の計38人がおう吐や下痢などの症状を示し、ノロウイルスとロタウイルスによる集団感染が発生したと発表した。全員軽症で回復に向かっているという

同園によると、12日に園児1人が下痢の症状を示し、20日までに0~5歳の園児計35人と20~50歳代の職員3人がおう吐などの症状を訴えた。園児6人中3人からノロウイルスが、2人からロタウイルスが検出された。

中北保健所は調理従事者からウイルスが検出されなかったことから集団食中毒ではないと判断。同園は施設内消毒を徹底するなどし、再発防止に努めている。

**国内の医療機関で昨年10月**、脳神経外科手術を受けた患者1人が、手術後にクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)と診断され、同じ器具で手術を受けた患者6人と、器具でけがをした病院職員1人が、CJDに二次感染した可能性があることが、20日開かれた厚生労働省の専門委員会で報告された。

同様の事例は2004年以降3件報告されており、今回の7人を含め、患者や病院職員40人が追跡調査の対象となっている。

CJDの原因とされるたんぱく質「異常プリオン」対策として、厚労省研究班が03年に脳神経外科手術器具の特別な処理を行うとするCJD感染予防指針を定めたが、手術を実施した病院は通常の滅菌処理だけで手術器具を使っていたほか、手術後に病院職員が右ひじをけがしていた。

**創価大と創価女子短大 (いずれも東京都八王子市)**は、学生らがはしかに集団罹患 (17 かん) したとして、5月6日までの全授業を休講にした。

同大によると、17日に学生35人、教員1人がはしかと診断されていたことが判明。感染拡大を防止するため、同大の全学部・大学院は18日から、同短大は19日からそれぞれ休講とした。

20日朝の時点では72人が発症。うち14人は回復しており、重症患者の報告はないという。発症者の8割以上が寮生活の学生。

国立感染症研究所 (東京都新宿区)によると、4月2~8日に、全国でののはしかの発症報告が前年同期比で6倍以上あり、通常かかりやすい乳幼児だけでなく、小中学生や20歳代でも目立っているという

**\* 拜んでもハシカには勝てないか?! アークフラッシュの予防効果に注目していれば良かったのに、担当者は話を聞こうとしなかった。**

**埼玉医科大学病院 (毛呂山町)**は18日、同病院の内科診療フロアと同大国際医療センター (日高市) の入院患者計27人の便などから、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) を検出したと発表した。全員が同じ型の菌で、急速に保菌者が増えたことから院内感染の可能性が高いという

同病院によると、3月24日、内科フロアの入院患者に挿入していたカテーテルの培養検査をしたところ、VREが検出された。その後、同フロアなどの患者計110人の便を検査した結果、27人からVREが検出された。年齢は18歳から86歳 (男12人、女15人) で60歳以上が20人。直ちに患者を隔離病棟に移し、現在は9人が退院、1人が転院した。同病院は今日5日、VRE感染防止緊急対策委員会を設置し、内科フロアなど約100床分を消毒するため、新規入院と患者の移動を止めたうえで近く閉鎖することを決定した。VREは、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) の治療に使う抗生物質「バンコマイシン」に耐性のある腸球菌。健康な人の腸内にVREがいても問題ないが、抵抗力が弱った人の場合は、感染症を起こして死亡するケースがある。国内では年間約70件の感染の報告例があるという

**埼玉県疾病対策課は18日**、毛呂山町市場の知的障害児施設「育心会・育心寮」に入所する30代の男性が細菌性赤痢を発症したと発表した。快方に向かっている。同施設での発症者は職員2人を含め計13人目で、1人の入所者が今も入院中という。同課や県坂戸保健所が感染経路を調査している

**精神科病院 弐場病院 (市川市国府台)**でのノロウイルス集団感染で入院患者2人が死亡した問題で、県などは18日、同病院を精神保健福祉法に基づき実地指導した。女性患者 (69) が点滴で身体拘束された状態で、のどにおう吐物を詰まらせて死亡したことから、身体拘束の適法性などを調べた。県は明確な違法性はないと結論付けたが、「自由度の高い拘束具を十分に備える必要がある」など複数の改善を求めた。

県障害福祉課によると、15日午後7時半ごろ、女性患者が病室のベッドで、あおむけ

でのどにおう吐物を詰まらせているところを医師が発見し、約10分後に死亡が確認された。おう吐や下痢の症状を訴え始めた前日から点滴のために両手を縛った状態だった。精神的に不安定で徘徊(はいかい)を繰り返す患者に対しては、拘束が認められており、今回のケースについても医師の判断で適正に拘束されていたという。

ただ、通常の拘束用具がなかったため、包帯で両手を縛っており、女性は寝返りができない状態だったという。このため、同課は十分な数の拘束用具を備えるよう指導した。身体拘束と死亡との因果関係について、同課は「判断する立場にない」と話している。

**東京都、埼玉県などを中心に、はしか(麻疹(ましん))が大流行の兆しを見せている。**都内では、患者の集団発生で始業式を遅らせた学校もある。国立感染症研究所によると、患者数が過去10年で最多の01年(推定約28万人)に迫る規模の流行となる可能性もあるという。はしかは感染力が強く、4月下旬からの大型連休を機に旅行者らによって東京などから各地へ感染が広がる恐れもあり、同研究所は注意を呼び掛けている。はしかはウイルスに感染後、10日前後の潜伏期間を経て発症する。39度前後の高熱やせき、鼻水などかぜのような症状が2~4日続いた後、全身に赤い発疹(はっしん)が広がる。死亡率は0.1~0.2%だが、患者の約4割は入院治療が必要。空気感染のため、患者と同じ室内にいただけで感染することがある。

都教育庁によると、都内の公立学校で、はしかによる学級閉鎖を行ったのは小、中学校各1校、高校2校。このうち練馬区内の都立高では、3月上旬以降計29人の患者が出て、今月6日に予定していた始業式を10日に延期した。

同研究所感染症情報センターが行った全国約3000の小児科での定点調査では、2~8日の報告数は32人(速報値)。多屋馨子・同センター予防接種室長によると、2月ごろから報告数が増え始め、3月中旬からは、重症化しやすい成人の患者も急増するなど、01年に迫る勢いで患者数が伸びているという。

多屋室長は「はしかにかかったことがない人やワクチンの接種を受けたことがない人は、早めに予防接種してほしい」と話している。

**福井県健康増進課は23日、福井健康福祉センター管内(福井市と永平寺町)在住の30代の女性が、細菌性赤痢に感染したと発表した。**細菌性赤痢は、東南アジアで感染する例が多く、高熱や腹痛、下痢が主な症状。女性も今月、東南アジアに渡航していたという。

**新潟県は23日、長岡市学校町1の飲食店「割烹(かっぽう)たいしん」(丸山元社長)が18、19両日に調理した仕出し弁当を食べた32人が、吐き気や腹痛などの食中毒症状を訴え、うち1人が入院していると発表した。**患者や調理従事者の便からノロウイルスが検出されたことから、県長岡保健所は同ウイルスが原因の集団食中毒と断定、同店を24日から2日間の営業停止処分とした。

奈良県は20日、葛城市新町の事業所の社員ら計31人が発熱や下痢、おう吐などの症状を訴え、うち6人からノロウイルスを検出した、と発表した。いずれも事業所の社員食堂で作られた給食を食べており、食中毒と断定。社員食堂に食材と調理者を派遣している給食会社「東テストイパル」(大阪府門真市)を、21日から2日間の営業停止処分とした。1人が入院したが既に退院し、全員が快方に向かっているという

今月19日、同社から葛城保健所に連絡が入った。同保健所によると、事業所の社員約200人のうち150人が12、13日の昼食や夜食を食べ、うち31人が今月14日から17日までに発症した。同社の調理者2人からもノロウイルスが検出された

## << 施工報告 >>

### 株式会社エコリーディング



グリーンパークホテル

**編集後記** :今回は感染の特集のようになってしまいました。

春の陽気と共に病原菌も活動を強めてまいります。夏の食中毒の対策は大丈夫ですか？ 食器、厨房の器具や用品の洗浄には除菌型洗浄剤のUクリーンを使いましょう！！神奈川県のスーパースンワでは大好評で売られています。

**\* 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.com](mailto:sasagawa@arc-flash.com)

1号～68号までを配信希望の方はメールにて申込ください。